

# 平成27年1月 経営協議会議事録

I. 日 時 平成27年1月8日(木) 14時00分～15時15分

II. 場 所 ステーションコンファレンス東京 サピアタワー5階

III. 出席者 徳久学長、赤田、有馬、犬養、加賀見、河田、島田、銭谷、西堀、武藤各委員  
中谷、渡邊、松元、安村、猿渡、堀、宮崎、山本、金原各委員

オブザーバー 桑古監事、宮坂監事

IV. 前回審議議事録について

原案のとおり承認された。

V. 審議事項

1. 中期目標・中期計画の変更について

中谷理事から、中期目標・中期計画の変更について、資料に基づき説明の後、審議の結果、承認された。

2. 平成26年度学内第二次補正予算(案)について

猿渡理事から、平成26年度学内第二次補正予算(案)について、資料に基づき説明の後、審議の結果、承認された。

VI. 報告事項(○:学外委員、◎:学内委員)

1. 融合科学研究科附属分子エレクトロニクス高等研究センターの改組による附属分子キラリティー研究センターの設置について

中谷理事から、融合科学研究科附属分子エレクトロニクス高等研究センターの改組による附属分子キラリティー研究センターの設置について、資料に基づき説明があり、続いて、学長から、本学の中心的な研究テーマの一つとして進めていきたいとの補足説明があった。

2. 本学におけるガバナンス改革について

中谷理事から、本学におけるガバナンス改革について、資料に基づき説明があり、続いて、学長から、学部長等の選考方法等について補足説明があった。

3. 平成26年度 スーパーグローバル大学等事業 スーパーグローバル大学創成支援審査結果について

渡邊理事から、平成26年度 スーパーグローバル大学等事業 スーパーグローバル大学創成支援審査結果について、資料に基づき説明があった。

4. 新学部構想について

中谷理事から、新学部構想について、概要の説明があり、続いて、渡邊理事から資料に基づき説明があった。

主な意見は以下のとおり。

- ◎ 留学生を積極的に受け入れ、新たに整備する学生寮に日本人学生と同居させるなどの取組も進めたい。
- 入学定員を将来的に150名に増員する旨の記載があるが、学生レベルを維持するには人数的に無理があると思われる。現計画上の90名の方が千葉大学としてのブランド力を保てる。
- ◎ 最初の4年間で90名とし、将来、他の学部の入学定員の検討も念頭において、150名としているが、志願倍率などの状況等も勘案しながら将来の定員を考えていきたい。

5. 産業競争力会議における検討状況について

猿渡理事から、産業競争力会議における検討状況について、資料に基づき説明があった。続いて、学長から、運営費交付金の見直しについて、千葉大学が「世界最高水準の教育研究の重点支援を行う大学」の枠組みを選択することとした場合の千葉大学の目玉となる研究が何かを検討していきたい旨の発言があった。

- これまでは、医学部が千葉大学を牽引してきたが、今後は工学部など他の学部も一体となって力を出していく必要がある。学長が強い統率力を持ち、全学が一つの目標に向かっていかなければいけない。

以上